

第3回牧之原市教育のあり方検討委員会 次第

日時：平成30年4月18日（水）

午後1時30分～

会場：相良庁舎 4階大会議室

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 職員紹介

4 議 題

(1) 第2回の振り返り

(2) 施設・体制について

5 連絡事項

・視察について

6 閉 会

担 当：牧之原市教育文化部教育総務課

電 話：0548-53-2642

FAX：0548-53-2657

E-mail：koyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp

こころざしを持ち 夢あるひとづくり

次代を生き抜く力

学びのプロセス

活用する

- ・社会に活かす
- ・効果を実感する

- 【資質・能力】
- ・主体性
 - ・実行力・行動力 等

創造する

- ・新しい価値を生み出す
- ・未来を描く

- 【資質・能力】
- ・思考力、判断力、表現力等の能力
 - ・課題発見・解決力等

学ぶ

- ・これからの時代に必要な力や
- ・地域への愛着や誇りを育む

- 【資質・能力】
- ・十分な知識・技能

学びの基本姿勢

対話 コミュニケーション力
体験 気づき・発見、意欲
協働 多様な人との協働

生きる力の基礎・基本

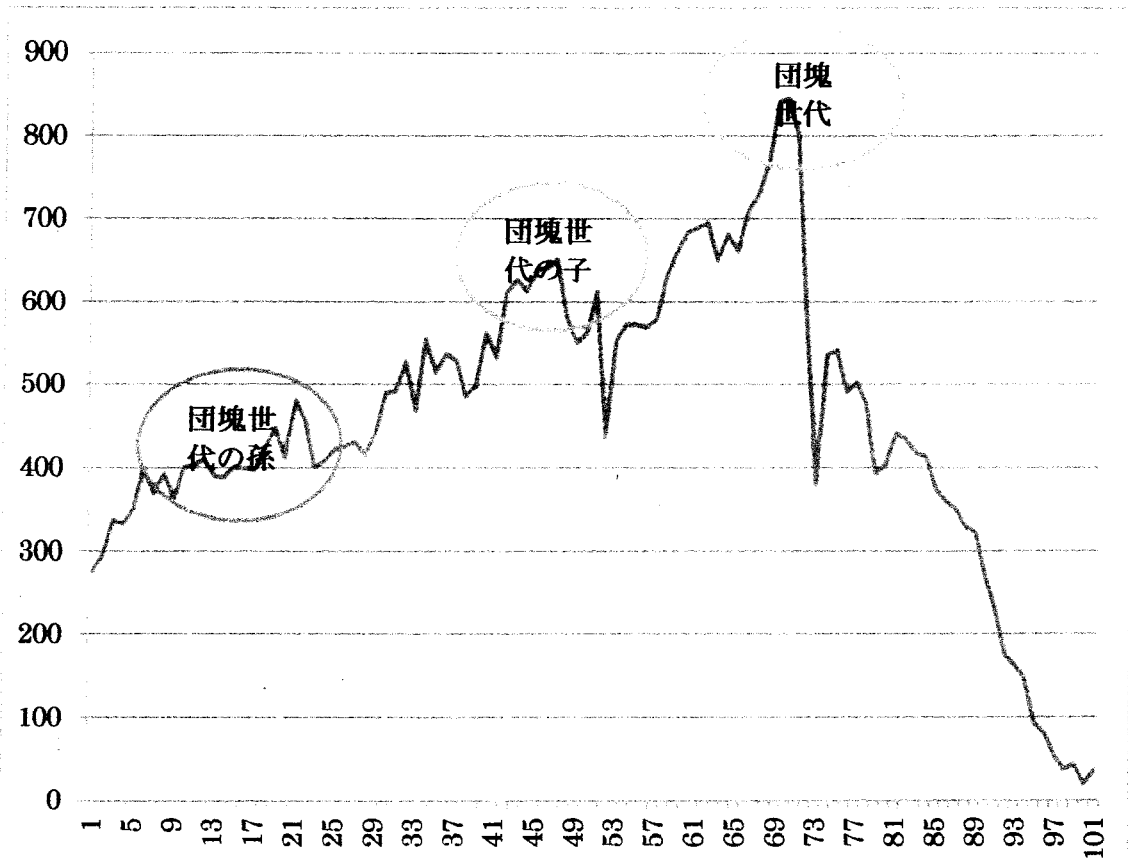
心身のたくましさ、自己肯定感や命の大切さなど、人が生きて行く上で大切な部分

資料 1-2 概念図について

○ 第2回検討委員会でごいただいた委員のみなさんからのご意見により、以下の視点から今回の図に変更しました。

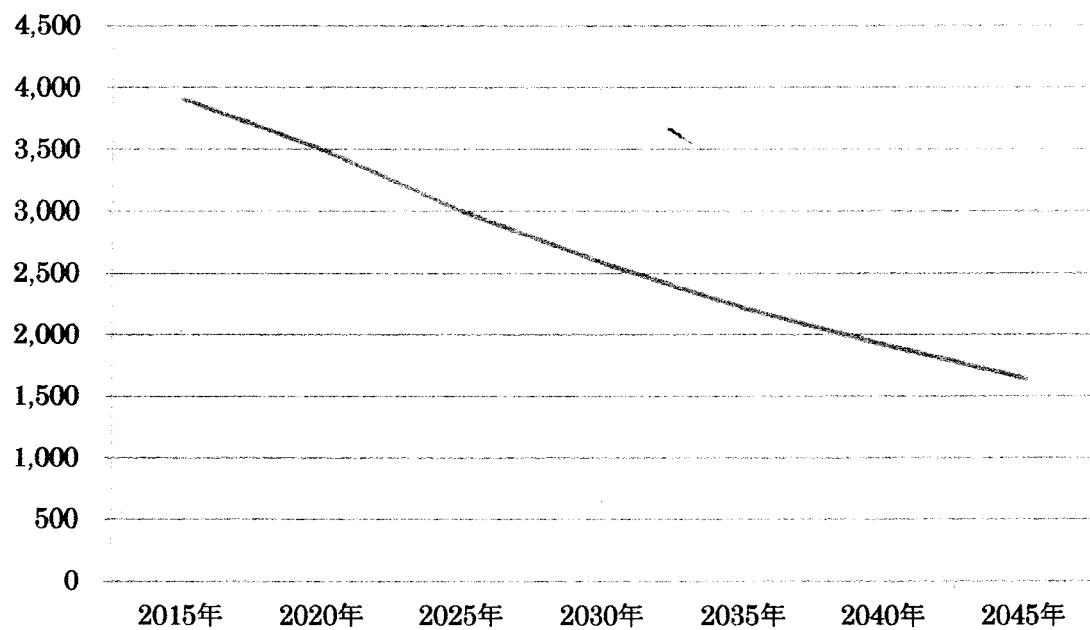
変更箇所	前回	今回	理由
図のタイトル（何を表すか）	牧之原市の子どもにつけたい力	基本理念実現のための9年間の連続した学び	委員からの意見には、力、個人、集団、関係等が混在しているので、それを整理した図を検討してほしいと、第2回最後のまとめの際に、委員長から要望があったため。
目標 （中心とするもの）	<ul style="list-style-type: none"> ・対話力 ・創り出す力 	<ul style="list-style-type: none"> ・次代を生き抜く力 	「対話力」、「たくましさ」、「こころざしを持ち夢あるひとづくり」のどれを中心とするかという意見があった。ここでの委員の意見と、講演会、懇話会での参加者の意見を参考に修正した。
力のまとめ方	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識・技能 ・課題発見・解決力 ・創り出す力 ・活用力 ・対話する（対話力） ・多様性を受容する ・生きる力の基礎・基本 	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ ・創造する ・活用する ・対話 ・体験 ・協働 ・生きる力の基礎・基本 	保護者も分かる表現にするため、言葉を簡単にし、力のみで示すのではなく、プロセスと基本姿勢で示した。 体験については、第2回の話し合いの内容から新たに加えた。 対話による気づきや学び、またさまざまな体験による学び、そして、多様な人と関わることによる学びが大切であるということから、この3つを通して学ぶことでより豊かな学びが実現できると考え、基本姿勢とした。
土台	生きる力の基礎・基本	変更なし	人として大切な部分であるため、土台として表現している。

牧之原市の年齢別人口 (市住民基本台帳 2018.3.31 現在)



牧之原市の5～14歳の人口予測

(国立社会保障人口問題研究所2018.3.30発表
地域別将来推計人口からの抜粋)



H30.4.18 第3回枚之原市教育のあり方検討委員会資料

■ 視察先案

望ましい教育を実現するために必要な施設・体制の先進地を、1泊2日の日程で視察する。

○ 候補

学校名	高知県高岡市立東郷学園	京都府京都市左京区大宮小中学校	京都府京山市東の中学校
概要	人口 4500 人の村唯一の小中学校 2010 年開校	2003 年「9 年制義務教育学校設立に向けた教育システムの開発」をテーマとした文科省の指定を受け、取組開始 2010 年開校、2012 年校舎が完成	3 小学校と 1 中学校を統合 2014 年開校
児童生徒数	生徒数 377 人 1~6 学年 262 人 7~9 学年 115 人	896 人 1~6 学年 563 人 7~9 学年 333 人	695 人
区切り	初等部 4、中等部 3、高等部 2	初等部 4、中等部 3、高等部 2	ファーストステージ 5、セカンドステージ 4
学習の特徴	全学年に「英語科」を設定 17~35 時間	高等部に「サイエンスランゲージ(科学・言語の発展学習)」「アントレプレナー(企業家精神)」教育。 5~7 年の教授組織を融合し「リーダー体験」と「ピギナー体験」を繰り返すことができる取組	「東山泉・学びのスタンダード」を定め「シラバス～学びのみちしるべ」を全保護者に配布し、学校と家庭が学習内容を共有しながら進めている。 1 学年からの「英語科」は中学校英語教員が担当。5 学年から教科担当制導入(国・算・社以外) 3 学年からの総合的な学習の時間を「夢創」とし「キャリア教育の視点」から 9 年間の段階的テーマを設定し取り組んでいる。

学校名	所在地	施設	特徴
施設の特徴	<p>村の中心に立地 学校に隣接して「村立すこやかセンター(温水プール・図書館・トレーニングルーム)」があり学校にはプールがなくここを利用している。学校内にはふれあいホール(全教員も利用)、アトリエ(美術などの特別教室を一体化した広い空間)</p>	<p>講堂・多目的融合室</p>	<p>学年分離型 1st ステージと 2st ステージの校舎は 750m 離れている</p>

○ 行程

- [1日目] 相良庁舎 9:00 (移動 217 分+昼食) ~13:00 東山泉小中学校 16:00~京都泊
- [2日目] 宿 8:40 (移動 15 分) ~9:00 京都小中学校 12:00(移動 104 分+昼食)~14:30 飛鳥学園 16:30 (移動 104 分) ~18:30 市役所着

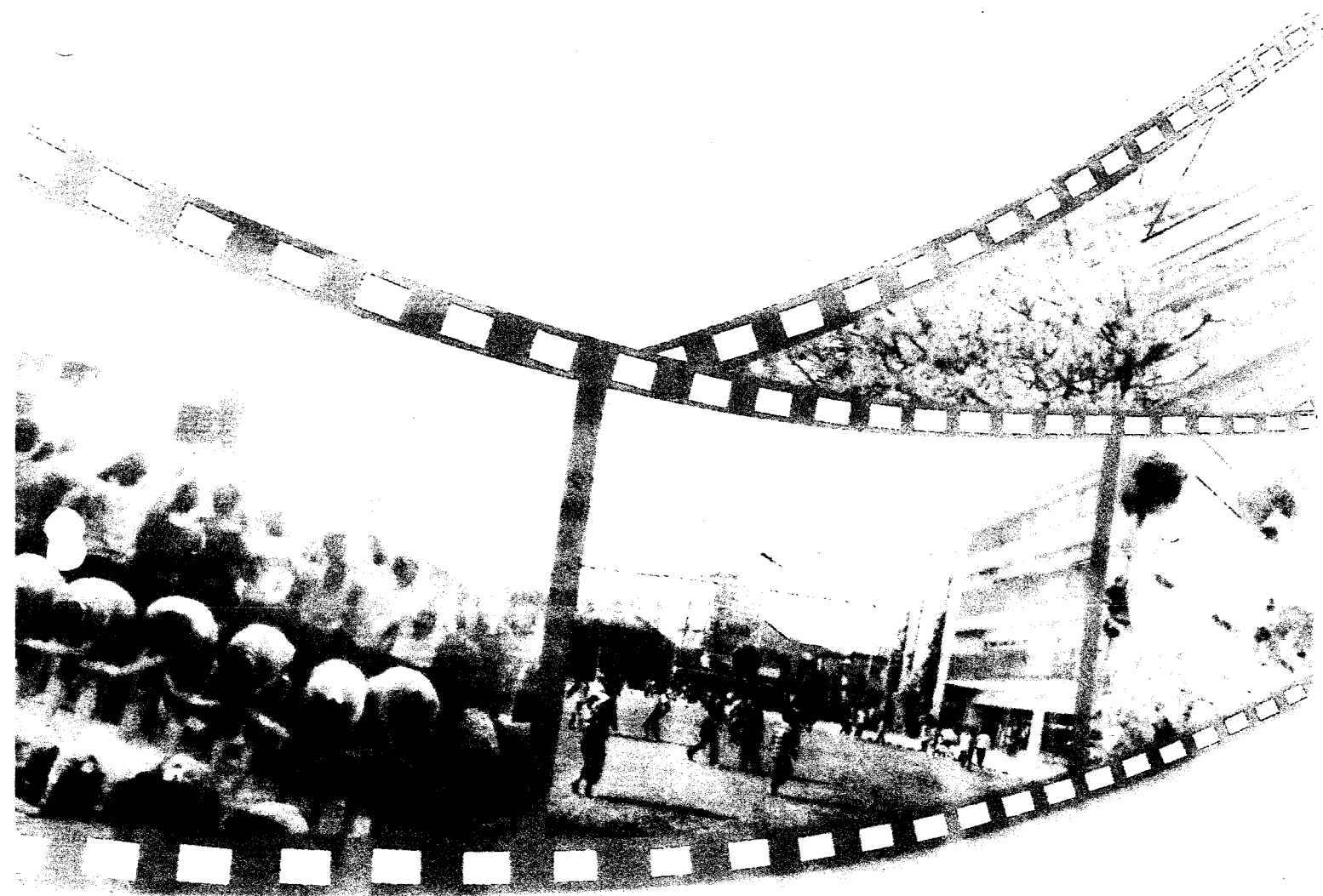
○ 候補日

- (1) 6/28 (木) ~6/29 (金)
- (2) 7/4 (水) ~7/5 (木)

他市町における小中一貫教育の取組について

取組	内容
○ 一部教科担任制	教員の専門性を活かした授業を行うことで学力の向上を図る取組。また、中学校進学に向け、小学校高学年から一部教科担任制を行うことにより、小学校から中学校へ滑らかな接続を行う取組。
○ 乗り入れ授業	中学校教員がチームティーチング授業等を行うことで、児童がより専門的な指導を受けることができる取組。 また、小学校教員が中学校の授業へ入る場合もある。
○ 9年間を通した「学びの約束・ルール」	小学校低学年から『ノートのとり方』『発表の仕方』『授業に向かう態度』等の指導を積み重ねることにより、子どもたちに「主体的な学びに臨む姿勢」と「主体的に学び続ける力」を高める取組。
○ 家庭学習の手引き	子どもの望ましい学習習慣や生活習慣の形成に向けて、「家庭学習の手引き」を作成し、家庭や地域と連携を図る取組。 (例)○家庭学習の時間や方法 ○学習準備やテレビの視聴時間など、生活習慣の形成に係る内容等を記載
○ 英語活動	児童・生徒の英語力の充実・発展を図ることを目的とした取組。
○ 異学年集団活動	児童・生徒の小中学校間の交流活動を充実させ、中学校への滑らかな接続を図ると共に「社会力」や「豊かな心」の育成を図る取組。
○ 宿泊体験	同じ中学校区の小学校と小学校が宿泊体験を合同で行うことにより、新たな友だちとふれあい、1つのことを共にやり遂げる体験を通じて、中学進学の不安感等を解消する取組。その他にも、5年生と7年生(中2)で合同の防災宿泊体験を行う事例もある。
○ 小・小交流授業	各小学校どうしが授業交流を行うことで、小学校間の学習内容を共有化する取組。
○ 小・中交流授業	実技を伴う授業において、中学生が小学生へ技術指導(支援)を行う。小学生にとっては技術の向上、中学生にとっては小学生に教えることで技術の定着を図る取組。
○ 小中学校合同の学校運営協議会	地域等の方々と学校教育目標や学校が目指す子ども像を共有し、学校・家庭・地域の連携・協働体制を構築することで、子どもたち一人ひとりの成長を支えていく取組。
○ 親学	学校と家庭の連携を深めることによって、家庭の教育力を高める取組。 (例)家庭学習 思春期の子育て

上記以外にも、各市区町村では独自性を出した小中一貫教育が行われています。



AKA (天沼中・沓掛小・天沼小の3校の総称)

教員

- 年間3回の授業研究会
- 年間2回の4部会交流研究会
 - ・日本の伝統・文化理解教育、
 - キャリア教育
 - ・生活指導
 - (規範意識の醸成・学習規律と生活規律)
 - ・研究、ICT、情報教育
 - ・オリンピック・パラリンピック教育

AKA 授業研究会



児童・生徒

- 百人一首大会
- (6年生と中学1年生の対戦)

わくわく図書館プロジェクト



- 近隣幼稚園・保育園を招いての
- 「わくわく図書館プロジェクト」
- 近隣幼稚園・保育園の教員との交流や
- 研修会 (年間3回予定)
- 新一年生保護者会や見学会

幼保小連携研修会



学校と地域

- * 学校評価アンケート
- * 情報発信・天沼教育 FORUM
- 「学校だより」に「コミュニティスクールコーナー」
- * サマーワークショップ (教員・保護者・地域の方との懇談会)
- * 保護者地域対象の研修会
- * 委員の知見を活かしたアドバイス

サマーワークショップ



天沼教育 FORUM



学校運営協議会

保護者や地域の住民が一定の権限と責任をもって学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現に取り組めます。

- ① 学校の運営に関する基本的な方針についての承認。
- ② 学校の運営に関して教育委員会または校長に対し、意見を述べる。
- ③ 教職員の採用等に関して任命権者に意見を述べることができ、任命権者はこれを尊重する。

教育目標

よく考える子

意欲をもって自ら学ぶ子ども

思いやりのある子

人のやさしさと
自分への強さをもった子ども

たくましい子

心身ともに健康で
最後までやりぬく子ども

次世代では、成熟した国際社会に生きる資質能力が問われると推測します。
科学技術の振興で、今まで考えもつかなかったことが可能になります。

タブレット授業



障害者スポーツ体験

「天沼伝」和太鼓



役割

- 。よりさまざまな声を集め学校運営に反映させる
- 。必要な情報を正しく伝え、理解を求める
- 。共に考えていく学びの場を提供する
- 。教育活動の課題改善策を提示する

経営支援

学校運営協議会の役割は
学校運営の**基本方針を承認**すること



運営支援

学校支援本部の役割は
承認された**基本方針に沿って活動**
学校の許可を受けて行う

役割

プロジェクトチームを編成し、学校運営協議会が承認する学校運営の基本方針を具体的な教育活動によって実践して、学校の運営を支援する

成長期

組織について理解が進んでいる。
学校から信頼を得られている。
支援内容を提案できるようになった。
地域ネットワークから協力要請が入る。

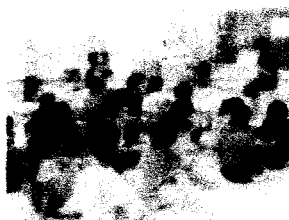
確立期

組織はほぼ出来あがった！
学校とコミュニケーションが取れる！
支援の方向性は見えてきた！
地域ネットワークの体制づくりを！

創生期

どうやって作るの？
どうやって学校とつながるの？
どんな支援をしていけばいいの？
地域情報をどうやって集めるの？

- 読書タイム 週2回
- 読書週間 学期に2週間
- 学校支援本部図書ボランティアによる維持管理活動
お話し会・読み聞かせの実施および勉強会
- 学校司書による各学年の読書教育と教材整備



読み聞かせ



図書

- お店番体験(3年)
- ユニバーサルデザイン教育・地域安全マップ作り(4年)
- 起業家教育(5年)
- 1社まるごとお仕事トーク・裁判傍聴・わたしたちの天沼(6年)



お店番体験



わたしたちの天沼

- 1年生からの英語活動・茶道体験
- 地域の方々をゲストティーチャーに迎えた体験
昔遊び体験・折り紙教室(1・2年)・お箏教室(3・4年)・友禅染(4年)・和太鼓(5・6年)
- 天沼中学校と連携したマナー講座(3年)・華道教室(4年)・英語授業(6年)
- 天沼中学校・沓掛小学校と、3校連携の百人一首大会(6年)



お箏



友禅染

学校支援本部の活動
あまぬまワングラース

- *授業コーディネート
 - 読書活動
 - キャリア教育
 - 日本の伝統・文化理解教育
- *学習補助
- *家庭科サポート
- *教材づくり・掲示
- *国際交流
- *地域交流
- *小中連携



茶道



ハピさたハロウィン

- *土曜日学校
(あまぬまハッピーさたでい)
- *放課後活動
(あまぬまハッピーくらぶ)
- *検定・学力向上プロジェクト

- *読書活動
- *安心安全
- *動植物環境整備
- *ICT
- *健康教育

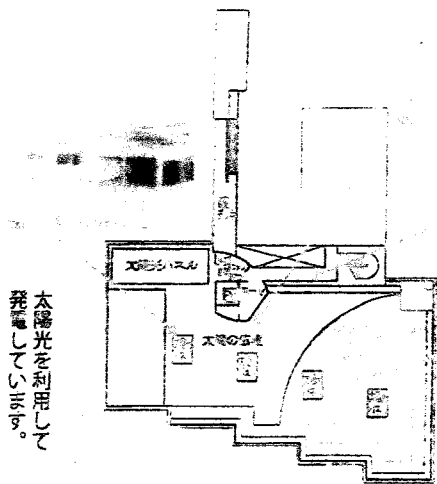
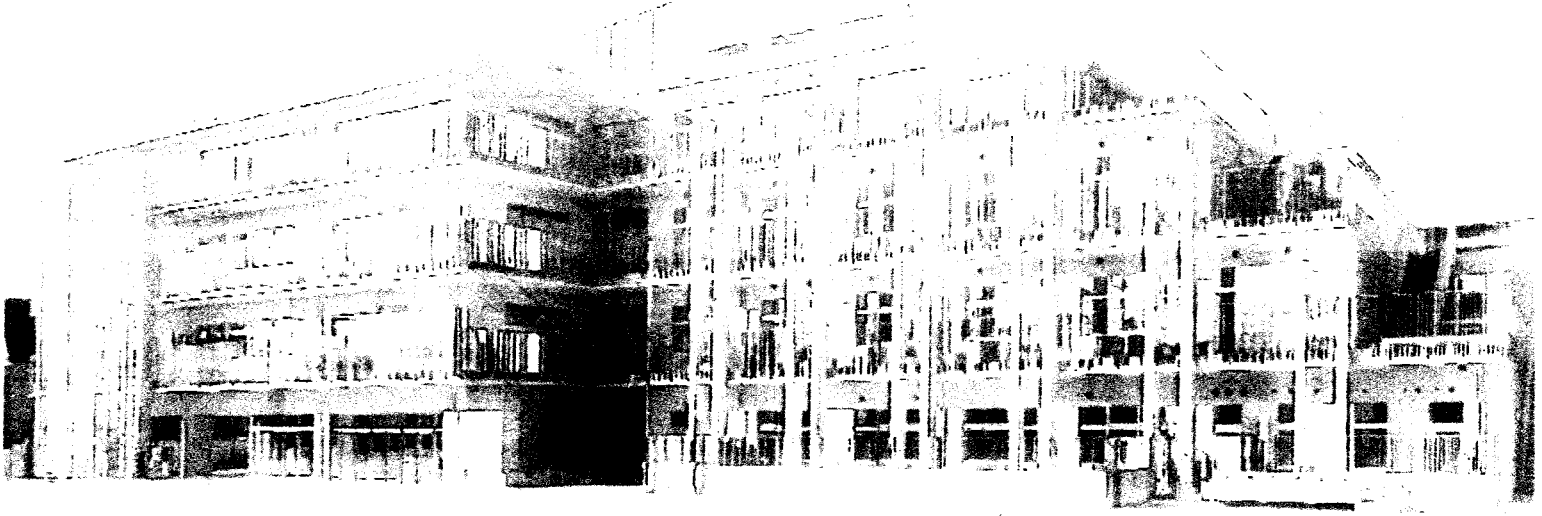


朝遊び



あまぬまおやじの会

- *天沼小学校同窓会
- 杉並第五小学校同窓会
- 若杉小学校同窓会
- *天沼地区町会
- *商店会
- *敬老会
- *育成委員会(青少年委員)
- *あまぬまおやじの会

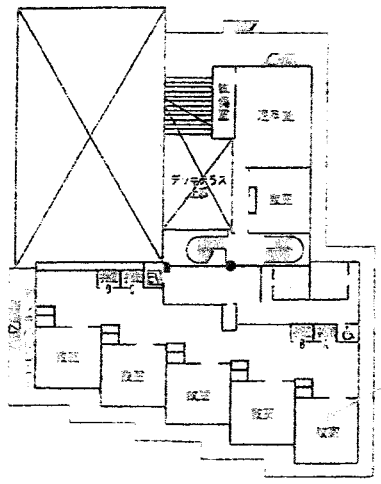
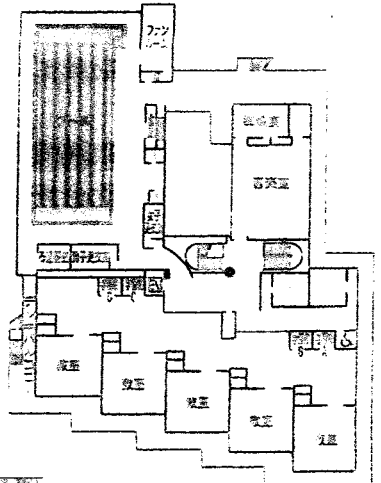


太陽光を利用して
発電しています。

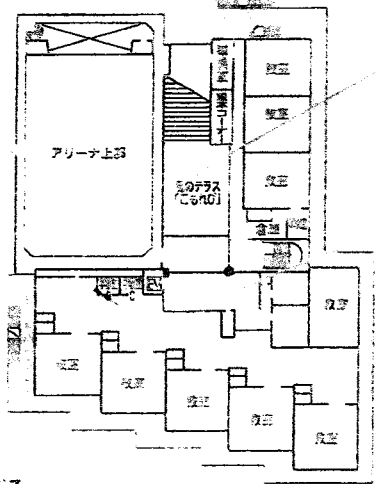
学校周辺の寂寥の町を
一変できます。

気温が38℃以上になると自動で開閉し、
熱気を放出します。(ナイトバージ)

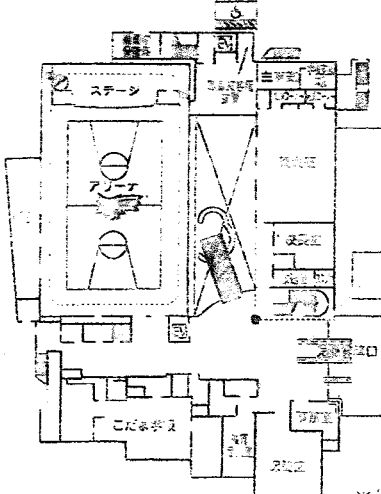
芝生にはハーブを育てています。



自動散水でヘデラ等
を植栽しています。



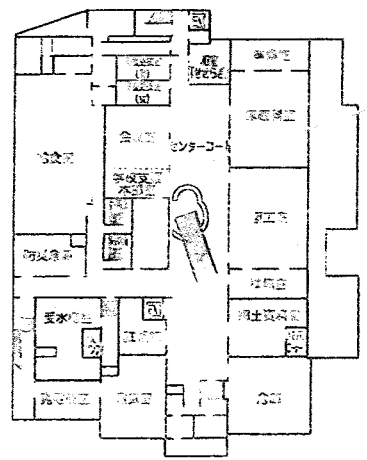
グランドピアノが置かれ
風のテラスまで広々とし
た空間が創り出せます。



タブレットやOHCにつなげる
最新のICT機器です。



太陽光発電や風力発電の
状況についてリアルタイムに
知ることができます。

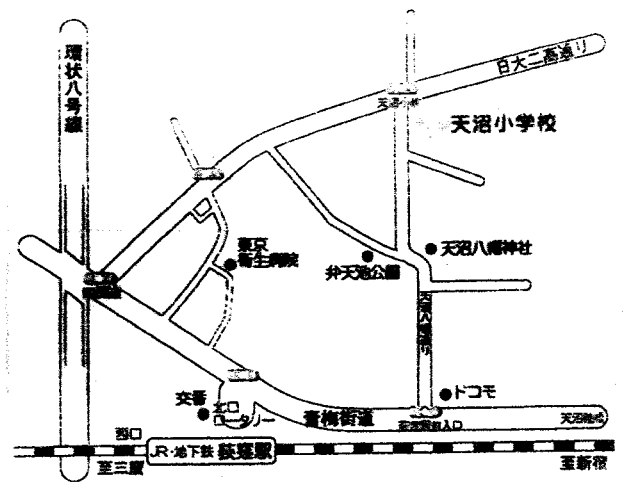


和室と多目的スペースが
あります。

※地下2層は地下道場(クールヒートトレンチ)があり、
外気を地下熱によって冷暖化しています。

沿革史

- 平成 20
 - 4.1 開校
初代 中島豊校長着任
 - 4.1 PTA発足
 - 4.6 開校記念式典
 - 6.11 開校記念児童集会
 - 9.1 学校支援本部(あまめまワンダラーズ)発足
 - 11.1 開校記念祝賀会
- 平成 22
 - 4.1 学校運営協議会発足
- 平成 23
 - 1.11 新校舎へ移転
 - 2.10 新校舎落成記念式典
- 平成 24
 - 2.7 杉並区教育委員会教育課題研究指定校研究発表会
 - 6.12 開校五周年記念児童集会
 - 9.2 同窓会発足
 - 11.18 開校五周年記念祝賀会
- 平成 25
 - 4.1 第二代 福田晴一校長着任
 - 11.15 第52回全国学校体育研究大会東京大会
- 平成 26
 - 9.2 児童用タブレット導入
- 平成 28
 - 2.19 東京都小学校放送教育研究発表
 - 11.18 放送視聴覚教育全国大会発表



杉並区立天沼小学校

〒167-0032

東京都杉並区天沼2-46-3

TEL 03-3392-6428

FAX 03-3393-7561

http://www.suginami-school.ed.jp/amanuma_es/

〈徒歩〉約12分

荻窪駅北口から、青梅街道を横断して
八幡通り商店街をぬけ、天沼八幡神社横を通り約12分

〈バス〉約5分

荻窪駅北口3番バス乗場
中村橋方面
(中村橋行・練馬行・白鷺一丁目行・阿佐谷営業所行)
天沼小学校下車すぐ

校歌

第19回統合協議会(平成19年8月22日)の議事録より

真っ直ぐに成長する「杉」をイメージし、子どもたちにわかりやすく、親しみやすい校歌

「世界は不思議でいっぱいだ」

作詞 谷川 俊太郎
作曲 谷川 賢作

晴れた日に考える
青空みつめどこまでも
答えもとめて問いかける
世界は不思議でいっぱいだ
曇る日は思いやる
苦しんでいる子どもらを
いつもどこかで見つめてる
よりよい世界は夢じゃない
雨の日もたくましく
杉の木みたいになっすぐに
心とからだのびのびと
今日から明日へと学ぶ日々

(平成二十年制定)

平成29年度版

雲南市の教育

雲南市教育委員会

1 まちづくりの理念

「生命と神話が息づく 新しい日本のふるさとづくり」

2 雲南市の取組「人口の社会増」への挑戦

- H27～31年に社会動態による人口減少に歯止めをかけ、H32～36年に人口移動の増加を目指します。
- 特に、20代・30代を中心とした子育て世代をターゲットに「子育て」「雇用」「住宅」「若者チャレンジ」など様々な分野において、魅力ある事業をすすめます。
- この取り組みをリーディングする事業として、子どもから大人までのチャレンジを中心とした新たなプロジェクトに取り組み、「人口の社会増」を実現します。

3 雲南市の重点戦略

「子ども・若者・大人チャレンジの連鎖」による持続可能なまちづくり
～若者誘致と人口の社会増～

- キャリア教育による「子どもチャレンジ」
 - 志ある若者による「若者チャレンジ」
 - 地域自主組織による「大人チャレンジ」この連鎖を切れ目なく創りだし、地域が継続的に運営されている魅力ある雲南市を実現したい。
- そうすることで、日本で一番チャレンジに優しいまちが創られ、そんな雲南市を愛するUIターナーが生まれ、人口の社会増へと向かう。
雲南市はそんな未来づくりに挑戦します。

4 6つのチャレンジプロジェクト

子ども
チャレンジ

×

若者
チャレンジ

×

大人
チャレンジ

- ① 大学機関と連携した課題解決型人材の育成への挑戦
- ② 大学機関と連携した課題解決型人材の育成への挑戦
 - フィールドワーク学習を中心としたカリキュラムの開発と単位認定
 - 様々な大学の学生や市内高校生、若者等が相互に学び合える「コミュ ニティキャンパス」の設置
- ③ 課題解決型人材の誘致・育成による若者チャレンジ創出への挑戦
 - 中間支援組織の育成・確保と課題解決型ビジネスモデルの創出
 - 資金調達や収益事業化等のノウハウ移転
 - 地域医療人材の誘致・育成
- ④ 産業振興センターの機能強化による新たな雇用創出への挑戦
 - 専門スタッフの全国公募・配置
 - 税務、IT、販路開拓等プロのアドバイザーによる伴走支援
 - 起業創業支援や人材育成セミナーの開催
- ⑤ 「うんなん暮らし推進課」による子育て世代の定住促進への挑戦
 - 移住支援スタッフによる定住化の促進
 - 地域自主組織と連携したUIターン施策の強化
 - 空き家を活用した活動拠点（シェアオフィス等）の提供
- ⑥ 地域自主組織の法人化による持続可能な地域づくりへの挑戦
 - 地域自主組織の法人制度の創設
 - ふるさと納税制度等を活用した資金調達の仕組みづくり
 - 活動拠点（交流センター）の多機能化

第3次豊南中教育基本計画の概要

教育基本目標

ふるさとを愛し、心豊かにたくましく
未来を切り拓く、豊南市の人づくり

上代タノ氏 公選委員 豊南市長 豊南市長
兼井 健 士 「知己愛人」
の精神を身につけた人づくり

1. 計画の性格

- 教育委員会が策定する各種計画の最上位の計画。
- 計画期間 平成27年度～平成31年度(5年間)
- 総合教育会議における協議・調整の上で、本計画をもって「本題」に代えることが可許

2. 成果と課題

- (1) 社会環境
- 10年間で人口が約5,000人減少。
児童生徒 672名、幼児 374名減少
⇒ 少子高齢化
 - 学校数 小学校9校、幼稚園5校が廃校
⇒ 地域の「核」の喪失
- (2) 第2次計画期間中の成果
- 「夢」発見プログラム によるキャリア教育の推進
 - 地域自主組織を中心とした地域活動との連携

- (3) 課題
- 地域の牛組による地域活動が盛んに行われているものの、地域力の衰退、コミュニケーションの困難化が未だ懸念される状況
 - 子どもたちの「自己肯定感」、「集団生活において人と関わる力」が依然として低い現状
 - 不登校児童生徒数の割合が県平均よりも高い実態

3. 求められる方向性

- 「持続可能な地域社会の実現」に向け、市民それぞれの立場で学び、役割を果たすこと
 - すべての子どもたちが自らの人生を豊かにするよう、「生き抜く力」を持つこと
- 学校、企業(保護者)、地域(企業・NPO・市民会等)、行政の連携・協働によるキャリア教育の推進

豊南市のキャリア教育

設立した社会性のある大人の成長を目指す教育

職業社会性・職業的に磨き上げていくことで、豊かな職業生活を送ることが出来るよう、職業や能力を身につけることをめざし、行われる職業活動の体験と学び、職業・職業の「見・聞・思・行」の体験によるキャリア教育の推進

キャリア教育の推進体制

- キャリア教育の実践プログラム
- 連携 協働の推進
- 「『夢』発見プログラム」「コーティネーター」

総合教育会議による部長部局との一層の連携強化

- 総合教育会議による部長部局との一層の連携強化
 - ・教育委員会が中心となり、各部署の連携を促進する
 - ・他の部局との連携を促進する
- 学校運営の初年度からの推進
 - ・教員研修の充実、高学年区、高学年区、高学年区での教員研修の交流の促進
 - ・地域との連携、スタジアムの活用等による「チーム学校」の構築
- ネットワーク型行政の推進
 - ・市民の暮らしの課題、ノウハウを共有し、行政の効率化を図る
- 「アパメの国際」の積極的な活用
 - ・高学年区、高等教育機関、若手、会などの積極的な活用

キャリア教育の一層の推進

- キャリア教育の一層の推進
 - ・夢発見プログラムを教育行政の中心に加える
 - ・「夢発見プログラム」の推進
 - 夢発見プログラムを推進する
 - 夢発見プログラムを推進する
 - ・キャリア教育の推進
 - 夢発見プログラムを推進する
 - 夢発見プログラムを推進する
- 保護の一体化、保護小中高の連携
 - ・小中高の連携を推進する
 - ・小中高の連携を推進する
- 不登校知所
 - ・不登校知所を推進する
 - ・不登校知所を推進する
- いじめを許さない体制の構築
 - ・いじめを許さない体制を構築する
 - ・いじめを許さない体制を構築する
- 一人一人を大切に教育の推進
 - ・一人一人を大切に教育を推進する
 - ・一人一人を大切に教育を推進する
- 英語教育・英語活動の充実
 - ・英語教育・英語活動を推進する
 - ・英語教育・英語活動を推進する
- 不登校知所
 - ・不登校知所を推進する
 - ・不登校知所を推進する
- いじめを許さない体制の構築
 - ・いじめを許さない体制を構築する
 - ・いじめを許さない体制を構築する
- 一人一人を大切に教育の推進
 - ・一人一人を大切に教育を推進する
 - ・一人一人を大切に教育を推進する

「社会の要請に応える社会教育」の推進

- 「社会の要請に応える社会教育」の推進
 - ・社会教育の推進
 - 社会教育の推進
 - 社会教育の推進
 - ・社会教育の推進
 - 社会教育の推進
 - 社会教育の推進
- すべての人々にとって学びやすい環境づくり
 - ・すべての人々にとって学びやすい環境づくり
 - ・すべての人々にとって学びやすい環境づくり
- 生涯スポーツ活動の充実
 - ・生涯スポーツ活動を推進する
 - ・生涯スポーツ活動を推進する
- キャリア教育の推進
 - ・キャリア教育を推進する
 - ・キャリア教育を推進する
- 土曜学習の推進
 - ・土曜学習を推進する
 - ・土曜学習を推進する
- 社会教育施設の整備
 - ・社会教育施設を整備する
 - ・社会教育施設を整備する

Ⅲ. 平成29年度の取組の重点

1 「生きる力」を育てる学校教育の推進

- (1) 「**「夢」発見プログラム**」に基づくキャリア教育の推進
 - 「**「夢」発見プログラム**」が口指す「**基礎的・執行的能力**」の育成により社会的・職業的自立への基礎の育成。
 - 学校教育、社会教育協働**による「**「夢」発見ウィーク**」、**奉還出陣 in さんぽ**、「**水井隆平和賞**」、「**お弁当の日**」等共通題材の充実。
- (2) **雲南市教育の魅力化推進**
 - 教育委員会**への統括プロジェクトチーム、**高校への魅力化コーディネーター**の配置。
 - 教育魅力化推進会議**の設置。
- (3) **学力向上担当「派遣指導主事」と「学力育成指導員」の配置による、学力向上対策と小中一貫教育の推進**
 - スーパーティーチャー活用事業**を中心とした授業づくり研修の実施。
 - 小中一貫**し、**校区の連携**に応じた「**家庭学習の手引き**」の作成と活用。
- (4) **生徒指導担当「派遣指導主事」配置による生徒指導の充実**
 - NPOとの協働**による、**不登校の未然防止と不登校児童・生徒の学校復帰支援**。
 - 積極的な生徒指導の推進**。
- (5) **2中学校区への学校運営協議会の設置と「コミュニティ・スクール導入促進事業」による次世代の学校創生への試行**
 - 三刀屋中学校区、海樹中学校区**へ**学校運営協議会**の設置。
 - 加茂、占田、掛合、大東、木次**の各中学校区を「**コミュニティ・スクール**導入等促進事業、指定校区とし、「**次世代の学校創生**」のモデルとして**学校と地域の絆**をいっそう強めるための枠組み作り及び実行実施。
- (6) **特別支援教育担当「派遣指導主事」を中心とした一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育の推進**
 - 教職員の専門性の向上**。
 - 教育相談の充実**。
 - 切れ目のない支援**の実施。

2 心豊かでたくましい人づくりを目指した社会教育の推進

- (1) 「**UNNAN学びサポート事業**」を通じての**自主学習支援環境・体制作り**
 - 小学校の放課後学習教室**の場の設定と指導体制づくり。
 - 市内全中学校区**への放課後学習用タブレット端末の整備とそれを使用している自主学習。
 - (2) **土曜日等を活用した多様な学習プログラムの提供**
 - 「**わくわく教室**」による文化系から体育系のものまでの幅広い体験教室。
 - 「**とよび★えいご**」での、自然なコミュニケーションによる英語に慣れ、親しむ活動。
 - 「**中高生の！卒業前夜**」による**上級学習、地域課題解決の取組**。
 - (3) **地域自主組織と連携した生涯学習の推進**
 - 地域と行政**が協働し、**地域の特色**を生かした**生涯学習の推進**
 - 地域課題の自主的解決**に向けた「**若者チャレンジ**」と「**大人チャレンジ**」。
- #### 3 教育行政の基本方針
- (1) **安心・安全を基盤とした教育行政**
 - (2) **開かれた教育行政**
 - (3) **地域や児童・生徒の実態に即した教育行政**
 - (4) **学校教育と社会教育の協働による教育行政**
 - (5) **現場ファーストによる教育行政**
- #### Ⅳ. 平成29年度の具体的施策
- 1 **学校・家庭・地域（企業・NPO等を含む）・行政の協働を推進し、社会全体の教育力を向上させる。**
 - ネットワーク型教育行政**を進め、**P.T.A.、教育NPO法人、地域自治組織、社会教育団体、関係機関・団体**との連携・協働を推進する。
 - 特にパートナーとして「認定NPO法人カタリバ」と連携・協働を進め、キャリア教育の充実を図る。**
 - 学社協働による総合的な教育施策を推進する。**
 - ・**成果発表の場**となる「**教育フェスタ2017**」を開催する。
 - ・**コミュニティ・スクール**と**学校支援地域本部事業**の**地域学校協働本部**による**連携協働**について検討する。
 - 雄国海道郡**に**中高生を派遣し国際感覚豊かな人材を育成する。**

5 子ども政策局、教育NPO法人「カタリバ」との協働により、子どもや家庭の支援の充実を図る。

- 様々な要因により困難を抱えている児童生徒に対する支援を充実させる。
 - ・相談窓口を、子ども家庭支援センター「すわん」に一元化し、関係機関と連携を図り、支援を必要とする児童生徒や保護者、学校との相談を行う。
 - ・専門スタッフの配置により、子ども家庭支援センター「すわん」の機能を充実しながら、支援が必要な子どもや家庭のニーズに応じたサポートを関係機関と連携して行う。
 - ・幼児期通級指導教育「にっこりい」における就学前の幼児への指導など、早期支援の充実を図る。
 - ・すわん学習塾「まなびい」を開設し、小中学校に在籍する学習に困難さのある児童生徒への支援を充実させる。
 - ・発達障がい等の早期発見・早期支援システムのシステムづくりを進めるとともに、幼児期からの支援が行えるよう学校・関係機関と連携しながら移行支援の取組を更に進める。
 - ・生徒指導担当の指導員を配置し、学校と教育NPO法人の間の連携協働を深めながら、不登校児童生徒への支援体制を強化し、充実させる。
 - ・保幼小中の教員を対象とした研修を実施するとともに、研修内容を充実させる。

- 幼児期からの通時、適切な指導・支援を行い、一人ひとりの子どものキャリア形成を図る。
- 幼児期運動プログラムの実践に取り組み、その効果を継続的に把握するため幼稚園児・保育所児等が楽しみながら参加できる「わくわくうんなんビッグ（体力測定）」や運動習慣調査を行う。

子ども家庭支援センター運営事業	7,048千円	子ども家庭支援課
すわん学習塾「まなびい」運営事業	5,527千円	子ども家庭支援課
幼稚園運営事業	6,841千円	子ども政策課
認定こども園運営事業（幼稚園型）	9,786千円	子ども政策課
おんせんキャンパス運営事業	8,943千円	キャリア教育推進室
アンケートQ-U実施事業	1,390千円	学校教育課

6 安全・安心な教育環境の実現と充実した教育活動を支える環境を整備する。

- 幼稚園、学校の適正規模・適正配置の推進
 - ・学校適正規模適正配置基本計画に基づき、地域、保護者等との協議を進め、協議が整えば統合の手続きをすすめる。
- 安全安心な学校給食の提供
 - ・調理業務委託評価委員会の開催。
 - ・地産地消の推進による地元産材の給食への提供
 - ・食物アレルギー等情報収集と事故の未然防止
- 学校給食センターの統合整備

- ・老朽化した学校給食センター整備のため、学校給食運営委員会の意見を踏まえ、平成30年度の建設工事に向けて実施設計を行う。

○学習施設の計画的整備

- ・学校施設の老朽化などを調査し、建物の健全度を把握したうえで、今後の施設の整備と保全の方策を検討する。
- ・平成30年度に認定こども園への移行を予定する西幼稚園について、必要な施設改修及び保育備品等の整備を行う。また空調設備未整備の幼稚園施設について空調設備を設置する。
- ・学習環境及び周辺環境の整備
 - ・学校図書、教材備品を学校の要望に配慮しながら適切に整備する。

小中学校施設整備基金計画策定事業	10,000千円	教育総務課
小学校施設整備事業（小規模含む）	18,397千円	教育総務課
中学校施設整備事業（小規模含む）	9,527千円	教育総務課
幼稚園施設整備事業	31,689千円	子ども政策課
幼稚園施設小規模修繕事業	2,580千円	子ども政策課
学校給食管理事業（調理委託含む）	510,628千円	教育総務課
学校給食センター施設事業	105,600千円	教育総務課

7 人権・同和教育、平和教育を推進する。

- 同和問題地域講座、定例公開講座を実施する。
 - ・家庭、地域における人権・同和教育の推進
 - ・学校との連携の強化
 - ・いじめやハラスメントのない学校、地域づくりをすすめていくための、講座や映画制作、授業の実施。
- 年間を通じた「第2次震南市男女共同参画計画」に基づき啓発活動の実施。
 - ・女性の人権問題に対する取組の充実
 - ・男女共同参画の推進
 - ・相談体制の充実
- 平和教育の推進
 - ・水戸陸軍平和賞への参画や平和への願いを学び平和教育を推進する。
 - ・「水戸陸軍平和賞」への取組を通じ、市民に平和教育を推進していく。
 - ・水戸陸軍記念館の基本計画・基本設計に取り組み。

「水戸陸軍平和賞」事業	4,179千円	社会教育課
水戸陸軍記念館施設整備事業	10,635千円	社会教育課

8 文化財・文化振興行政の充実と賑わいのあるまちづくり

- 文化遺産の保護、保存、整備及び継承
 - ・世谷たたら山内保存修理事業を継続実施する。

キャリア教育実施について
(社会教育 生涯キャリア教育推進課)

＜キャリア教育全体構想＞

自己実現と社会性のある大人への成長

キャリア教育とは、自己実現と社会性のある大人への成長を促すこと。キャリア教育は、自己実現と社会性のある大人への成長を促すこと。キャリア教育は、自己実現と社会性のある大人への成長を促すこと。

人間性育成 社会性育成 自己実現育成 職業育成

自己実現 自己実現力 職業育成

キャリア教育推進事業	104,000千円	文化財課
生涯学習推進事業	8,000千円	文化財課
生涯学習推進事業	30,566千円	文化財課
生涯学習推進事業	141,890千円	社会教育課

キャリア教育の推進

人間性育成、社会性育成の育成

キャリア教育の推進

キャリア教育の推進

- スポーツや運動に親しむ機会の充実
 - ・県内各地にスポーツや運動に親しむとともに、継続的な運動習慣を定着させるきっかけづくりを推進する。
 - ・様々な競技のある方もスポーツに参加できるよう、専門的な知識を有する指導者とともに取り組みを進めて行く。
 - ・スハシヤルホリンピックのさらなる啓発を行う。
- 体育設備の整備
 - ・大東公園体育館が化工下、大東公園野球場整備、加茂川&C海洋センタープール整備に取り組み市民が運動やスポーツに親しむとともに、継続的な運動習慣を定着されるきっかけづくりを推進する。

チャレンジデー事業	660千円	社会教育課
体育協会事業	5,400千円	社会教育課
スポーツ少年団事業	2,193千円	社会教育課
大東公園体育館新築化工事業	173,245千円	社会教育課
健康づくり拠点整備事業	630,169千円	社会教育課
大東ふれあい運動場整備事業	127,677千円	社会教育課
大東町公園野球場整備事業	13,500千円	社会教育課

大宮町地区は、高齢者施設に伴う生涯学習推進課調査のほか、市内各所において生涯学習文化財調査を実施する。

大宮町歴史文化系文化財調査の計画づくりを進める。

年間を通じて、文化財や伝統文化の保護・保存、継承に努める。

○地域文化の理解促進、情報発信

- ・関係機関と連携し、加茂川沿道跡、平谷たたら山内をはじめとする文化遺産について積極的な情報発信を行う。

○文化振興事業の推進

- ・市内の文化施設を拠点として、それぞれの施設の稼働を最大化した多岐な文化事業を推進する。

○学校や地域における文化振興事業の拡充を図る。

- ・大東図書館を拠点として、増設し図書館機能の充実を図る。

平谷たたら山内保存管理事業	104,000千円	文化財課
平谷たたら山内活用事業補助金	8,000千円	文化財課
歴史文化財発掘調査事業	30,566千円	文化財課
大東図書館施設整備事業	141,890千円	社会教育課

生涯学習の推進

- スポーツや運動に親しむ機会の充実
 - ・県内各地にスポーツや運動に親しむとともに、継続的な運動習慣を定着させるきっかけづくりを推進する。
 - ・様々な競技のある方もスポーツに参加できるよう、専門的な知識を有する指導者とともに取り組みを進めて行く。
 - ・スハシヤルホリンピックのさらなる啓発を行う。
- 体育設備の整備
 - ・大東公園体育館が化工下、大東公園野球場整備、加茂川&C海洋センタープール整備に取り組み市民が運動やスポーツに親しむとともに、継続的な運動習慣を定着されるきっかけづくりを推進する。

チャレンジデー事業	660千円	社会教育課
体育協会事業	5,400千円	社会教育課
スポーツ少年団事業	2,193千円	社会教育課
大東公園体育館新築化工事業	173,245千円	社会教育課
健康づくり拠点整備事業	630,169千円	社会教育課
大東ふれあい運動場整備事業	127,677千円	社会教育課
大東町公園野球場整備事業	13,500千円	社会教育課

各事業の詳細は次ページ以降にて

市内全ての中学3年生が体験する『夢』発見ウィーク（3日間）を補助もの（2日間）として、『夢』発見プログラムの集大成に位置付けている、1泊2日の宿泊型キャリアアップセミナーです。（H21年度からスタート）

事業概要

■市内の中学3年生の希望者が国立三瓶青少年交流の家に集い、多様なプログラムへの参加。

■他校の生徒はもちろん、高校生や大学生も参加することから、学校や学年を超えた仲間と交流しながらの活動。

■チーム体制での活動に向けて、最初にチームみんなまで議論しながら、目指す姿「グラドルルール」の設定。

■地元、島根県出身アーティストのライブで盛り上がるのも楽しみの1つ。

■H28年度は、避難所運営ゲーム（HUG）にもチャレンジ。

■就寝前には、中高生の！幸運南塾で提供するマナビバ（学習時間）により、大学生とともに主体的な学びにもチャレンジ。

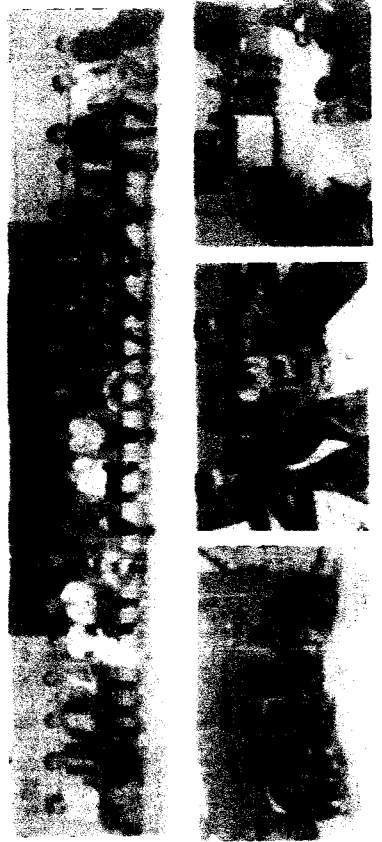
■メインは「キャリアアップワークショップ」（職業人による講話）。

■H28年度は17のブース（職種）を設け、様々な分野の先輩（プロ）からの学びを得る場。ココが『夢』発見ウィークと繋がる大きなポイント。

■最後は「探究ゼミ」（かつこいいい大人像を考える時間）。なんとなく「良かった」で終わるのではなく、自分なりの言葉による2日間の学びの表現。

■例年、市内中学3年生の30%～35%の参加。H28年度は約100名の参加。

活動写真
など



市内全ての中学3年生が3日間、市内で一斉に実施する職場体験学習です。実社会で職場体験することを通じて、社会人としてのふるまいを学ぶことや、残りの中学校生活で学ばなければならないことを発見を目的として実施します。

事業概要

■事前学習として、各学校で職業講話や授業研修など事前研修の実施。

■求人票をもとに、自分が体験してみたいと思う事業所の決定。

■希望する事業所での職場体験に向け、地域住民の方による面接の実施。

■体験する事業所が決定され、「採用通知」の受領。

■『夢』発見カード（履歴書）を作成し、体験先を選んだ理由やそこでチャレンジしてみたいことの整理。

■事前訪問を行い、業務内容や出勤時間の確認。

■3日間の職場体験の実施（10月11日～13日）。期間中は、受け入れ事業所において誓いのぼり旗の設置。

■感謝の気持ちを伝えるために、お礼の手紙の作成・発送。

■各中学校でまとめ発表や展示の実施。市内各所でのパネル展示の開催。

■H29年度は市内約330名の中学3年生が約170事業所で職場体験を実施。



活動写真
など





事業概要

豊南市が注力する社会教育の一貫として、課題解決人材やグローバルリーダーの育成に取り組む、中学生・高校生を対象とした土曜日等を活用したキャリア教育プログラムです。
〔H26年度からスタート〕



事業内容

- 中学生・高校生を対象に、月に2回程度、市役所等で開催。
 - H28年度は約300名の参加者があり、80名以上の大学生がボランティアで参加。
- 『探究ゼミ』
特別出会えない、社会人や大学生等との対話や地域での実働を通じて、将来の進路（進路）や視野を広げる場。
※ 『出張版！ 華雲兩塾』として、各学校への出張によるプログラムも開催。

『Skype英会話』

フィリピン講師との対話や外国人向けの観光案内等を通じ、（英語に限らず）学び続ける姿勢と、自分の考えを伝える力を身につける場。

『全国高校生 MY PROJECT AWARD 東京研修』

全国の予選を通過した同世代のマイプロを見て感じて刺激を受けるとともに、自らのマイプロについて考える場。H28年度は高校生7名の参加。

マイプロ…高校生が地域や身の周りの課題や気になることもテーマにプロジェクトを立ち上げ、実行することを通じて学ぶ課題解決型学習。

※三刀屋高校の生徒2名によるマイプロは、約200チームが参加した予選を通過（32チームが通過）して本選に出場。

『若者カイギ』

中学生・高校生・大学生・社会人が「地域プロデュース」をテーマに、話し合い、刺激し合い、成長しあう場。カイギで考えたアイディアを、例年4月に開催される豊南市桜まつりを通じて実践。



活動写真など



事業概要

地域住民（大学生、教員OB、NPO等）の協力やICT機器（タブレット端末）等の活用による、児童生徒の学習習慣の定着に向けた放課後の学習の場を提供します。
〔H28年度からスタート〕



事業内容

- 拠点：学校や交流センターなど
 - 開催頻度：週1回～2回 放課後1時間～2時間
夏期休業中などの活用も可
- 以上を基本に、地域の実情に応じて展開。

〔中学校〕

- 各中学校に10台～21台のICT機器（タブレット端末）の整備。
- （参考）
- H28年度 国庫補助：地域未来塾に係る学習支援の活用整備費 7,733千円

- 目標設定や振り返り取りも取り入れた、主体的な学びのサポート。

- 無料学習サイトeboard（イーぼーど）等の活用。

- ネイティブスピーカーとの英会話等の実施可。

〔小学校〕

- 教員OBなどの協力者による放課後の学習サポート。

※予算については、協力者の謝金としても活用いただけます。



活動写真など





事業概要

雲南市子どもたちが市内を運行するバスを利用し、市内の施設や観光地を訪問することでふるさと理解・ふるさと愛を促進し、さらに夏休み期間中の規則正しい生活を支援する事業です。
【H18年度からスタート】



■小中学生が夏休みに市民バスを自由に乗ることができ、300円の乗車券（通称：キヨロバス）の販売。

■スタンブライヤーや施設料減免により、様々なところに出かけるきっかけづくり。

■バスの時間に合わせた体験教室（株）キラキラ雲南主催事業など）の実施や市役所開放テーなど、キヨロバスを使って参加できるイベントの同時展開。

■H29年度から年間を通じて利用可能な通年版の発券予定。
（金額は1,000円程度の予定）

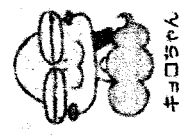
■H28年度の購入者は274名。
（市内小学生の12.3%、中学生の4.0%）
過去の平均では、年400名以上が購入。

（参考）

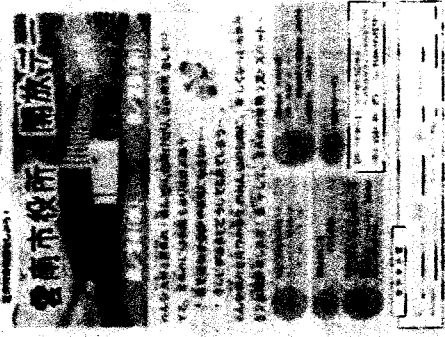
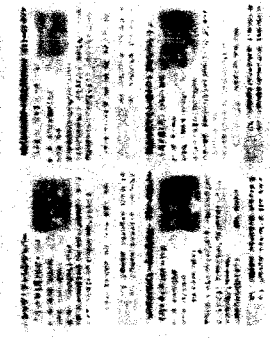
購入者向けアンケート結果
「雲南市のことが前よりも好きになった」と回答した児童の割合 70.1%
「来年もキヨロバスを使いたいと思う」と回答した児童の割合 83.7%



活動写真など



キヨロバス



事業概要

雲南市が注力する英語学習や土曜学習の一貫として取り組み、小学生を対象とした、英語に親しむ学習プログラムです。
【H26年度からスタート】



事業内容

■小学生を対象に、月に1回程度、市役所等で開催。

■講師に、国際交流員やALT・AETを迎え、本物の英語にふれながら、工作や料理などの体験を通じて、英語を楽しく学ぶ場。

主なねらい

- ①英語を好きになり学ぶ意欲をつける。
中学生になった時の自信になる。
- ②「積極性」「チャレンジする力」「コミュニケーション力」「自信」などを習得する。

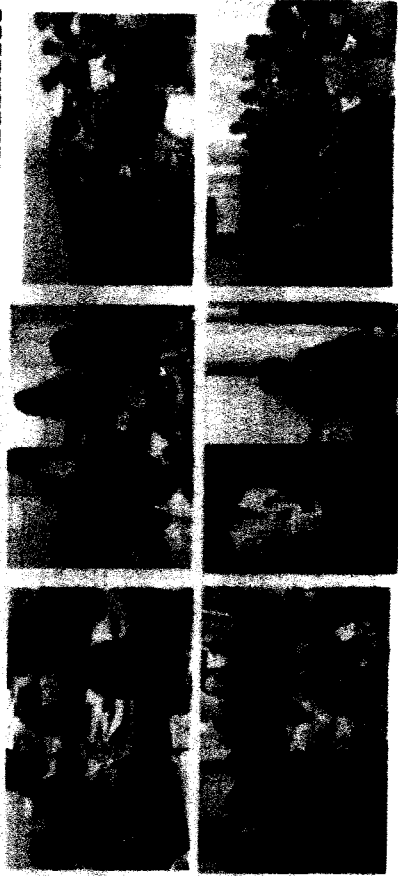
■H28年度の登録者

小学生93名、ボランティアとして、中高生19名、大学生12名。

氏名	学年
とろろえいた	小学3年生
とろろえいた	小学4年生
とろろえいた	小学5年生
とろろえいた	小学6年生
とろろえいた	小学7年生
とろろえいた	小学8年生
とろろえいた	小学9年生
とろろえいた	小学10年生
とろろえいた	小学11年生
とろろえいた	小学12年生
とろろえいた	小学13年生
とろろえいた	小学14年生
とろろえいた	小学15年生
とろろえいた	小学16年生
とろろえいた	小学17年生
とろろえいた	小学18年生
とろろえいた	小学19年生
とろろえいた	小学20年生
とろろえいた	小学21年生
とろろえいた	小学22年生
とろろえいた	小学23年生
とろろえいた	小学24年生
とろろえいた	小学25年生
とろろえいた	小学26年生
とろろえいた	小学27年生
とろろえいた	小学28年生
とろろえいた	小学29年生
とろろえいた	小学30年生
とろろえいた	小学31年生
とろろえいた	小学32年生
とろろえいた	小学33年生
とろろえいた	小学34年生
とろろえいた	小学35年生
とろろえいた	小学36年生
とろろえいた	小学37年生
とろろえいた	小学38年生
とろろえいた	小学39年生
とろろえいた	小学40年生
とろろえいた	小学41年生
とろろえいた	小学42年生
とろろえいた	小学43年生
とろろえいた	小学44年生
とろろえいた	小学45年生
とろろえいた	小学46年生
とろろえいた	小学47年生
とろろえいた	小学48年生
とろろえいた	小学49年生
とろろえいた	小学50年生
とろろえいた	小学51年生
とろろえいた	小学52年生
とろろえいた	小学53年生
とろろえいた	小学54年生
とろろえいた	小学55年生
とろろえいた	小学56年生
とろろえいた	小学57年生
とろろえいた	小学58年生
とろろえいた	小学59年生
とろろえいた	小学60年生
とろろえいた	小学61年生
とろろえいた	小学62年生
とろろえいた	小学63年生
とろろえいた	小学64年生
とろろえいた	小学65年生
とろろえいた	小学66年生
とろろえいた	小学67年生
とろろえいた	小学68年生
とろろえいた	小学69年生
とろろえいた	小学70年生
とろろえいた	小学71年生
とろろえいた	小学72年生
とろろえいた	小学73年生
とろろえいた	小学74年生
とろろえいた	小学75年生
とろろえいた	小学76年生
とろろえいた	小学77年生
とろろえいた	小学78年生
とろろえいた	小学79年生
とろろえいた	小学80年生
とろろえいた	小学81年生
とろろえいた	小学82年生
とろろえいた	小学83年生
とろろえいた	小学84年生
とろろえいた	小学85年生
とろろえいた	小学86年生
とろろえいた	小学87年生
とろろえいた	小学88年生
とろろえいた	小学89年生
とろろえいた	小学90年生
とろろえいた	小学91年生
とろろえいた	小学92年生
とろろえいた	小学93年生



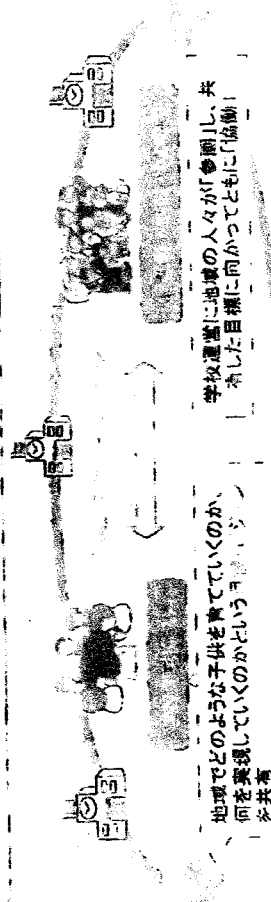
活動写真など



ユニバーシティ・スクールの導入を促進する
 (地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5)

は、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民の皆さんが一定の権限を持って参画できる仕組みを整えることができる。

が一定の権限を持って参画できる
 (教育委員会が学校や地域の実情に応じて学校運営委員会を置くことを認めます。ただし、学校運営の実行者は学校長であって、学校運営委員会が学校長に代わって学校の運営を決定・実施するものではありません。)



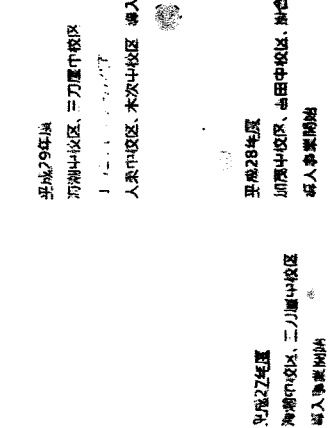
ユニバーシティ・スクールの特色を活かした、中学校区の存続・発展に向けた取り組み

- 子どもにとって**
 - 子供たちの喜びや生活の場が広がります。○遊びの場や学びの場が広がります。
 - 地域の歴史や文化を学ぶ機会が増えます。
 - 防災、防災訓練の機会が増えます。
- 教職員にとって**
 - 地域の人の力を活用して学校運営が実現します。
 - 地域の人々の参加による活動が充実します。
 - 地域の協力により、子供たちの安全が確保されます。
- 保護者にとって**
 - 地域の歴史や文化を学ぶ機会が増えます。
 - 地域の歴史や文化を学ぶ機会が増えます。
 - 地域の歴史や文化を学ぶ機会が増えます。
- 地域にとって**
 - 地域の歴史や文化を学ぶ機会が増えます。
 - 地域の歴史や文化を学ぶ機会が増えます。
 - 地域の歴史や文化を学ぶ機会が増えます。

- ユニバーシティ・スクールの導入に向けた(導入から取り組みの経過まで)
- 保護者、地域、地域の理解促進
 - 学校評議員、地域教育協議会等、既存の組織の活用と整理
 - 学校運営協議会の役割の明確化、今後の方向性の確認
 - 家庭・地域への支援活動協力の呼びかけ
 - 学校、家庭、地域(企業、NPO等)、行政との連携・協力を推進していくためのシステムづくり

ユニバーシティ・スクールの導入に向けた(導入から取り組みの経過まで)

ユニバーシティ・スクール導入に向けて(豊南市全体の動き)



- ユニバーシティ・スクールへの評価と改善
- 組織の再編と再構築
- 家庭・地域への支援活動協力のさらなる呼びかけ(学校応援団の人材発掘)
- 保幼小中一貫した教育の強化(「夢」発見プログラムを試す)

ユニバーシティ・スクールの導入に向けた(導入から取り組みの経過まで)

平成31年度
 全中学校区がユニバーシティ・スクールへ

- まとめ
- それぞれの立場を尊重しながら、積極的に話し合うことで、魅力的な地域づくり、学校づくりを目指します。～
 - さらなる地域の活性化と、中学校の質の向上が目的の連携に向けて、学校と地域とが対等な関係に立ち、対話していくことが重要となっています。
 - そのためにも、それぞれの取り組みの相対性や関係性を整理することと、それを整理する取組が重要となります。
 - 学校運営協議会の導入に向け、学校、家庭、地域がそれぞれの立場で考え、実情にあった取り組みを行うことが重要です。

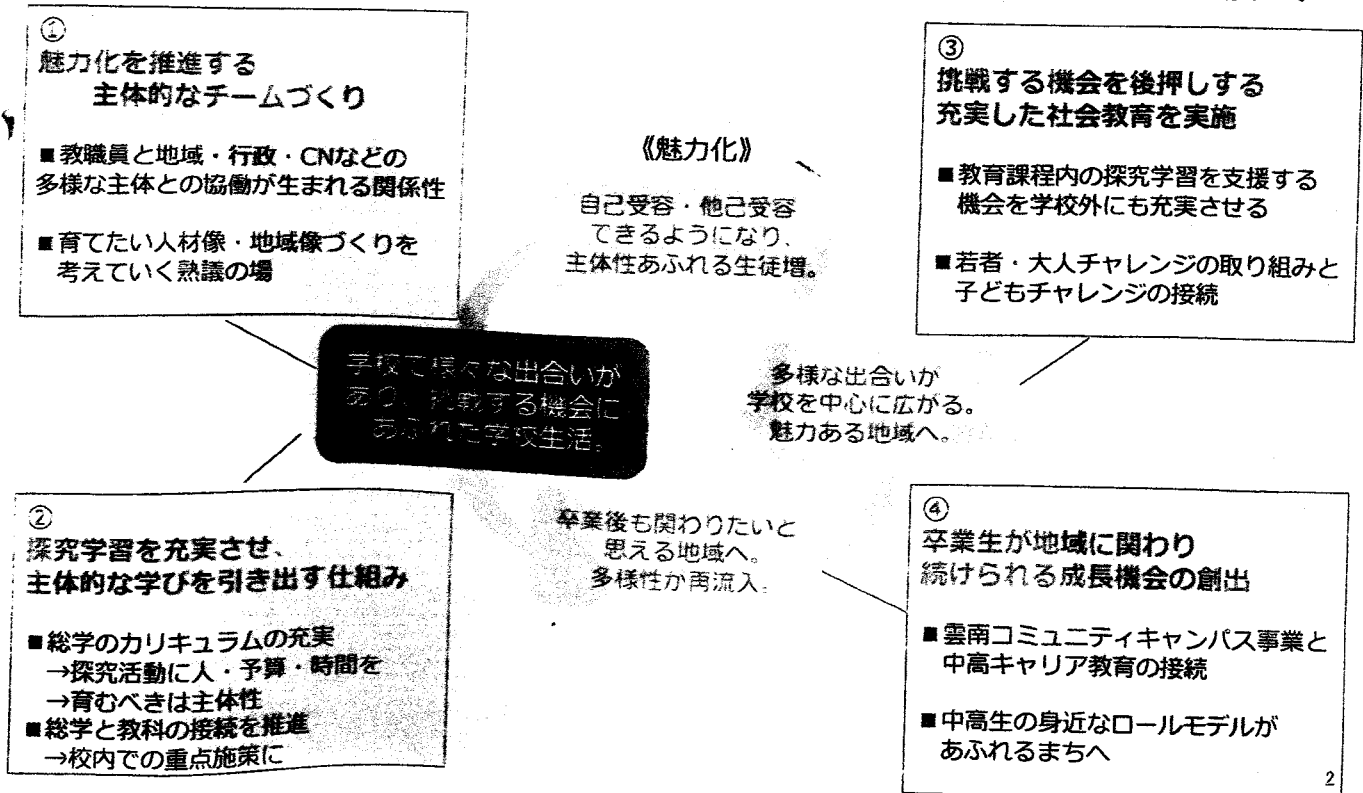
雲南市教育支援センター (キャリア教育推進事業)



認定NPO法人カタリバ

キャリア教育推進事業の全体戦略

教育課程の中・外で生き方・進路の多様性に触れられる機会と主体的に探究する(興味・関心を広げ、深めていく)機会を生徒に届け、学び続ける姿勢・意欲=チャレンジする人材へと育つ雲南市へ。

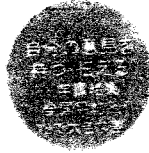


【社会教育】同世代に刺激を与えられるロールモデルの育成

学校教育の中では時間的な制約などで難しい内容を社会教育の機会で実施。
探究型の学習であるプロジェクトに取り組み、主体性などを育てていく。

背景にあるのは中・高校生年代の課題感

社会課題を
ジャンゴトとして
捉える経験が
少ない



学びへの
内発的な動機づけ
が難しい

高い進路
目標を持たない
※どうせ勉強
できないから、

多様性に
触れる機会が
極端に少ない

高校の教職員と
育みたい人材像の
ルーブリック策定時に
出た意見。

3つの探究型プロジェクトへの参画者を集め、活動を通じた成長機会を生徒へ。

■うんなん観光ボランティア

一狙い
自分たちのまちの魅力を観光客(主に海外)に伝えられるように、英語学習×地域の魅力発見を行う活動。

- 一活動・成果物
- ・Skype英会話レッスン
 - ・スピーチコンテスト
 - ・子ども向け土曜英語のボランティア
 - ・Englishキャンプ
 - ・海外観光客ツアーづくり(早稲田生)
- ※韓国派遣の中高生の研修も含む。

～6月
塾生募集

7月～
PJ活動

■うんなん中高生編集部

一狙い
本気でまちづくりなどに尽力するロールモデルとの出会いを、取材という主体的な形でつくっていく活動。

- 一活動・成果物
- ・フリーペーパー
 - ・夢ネットの番組コーナー
 - ・市報

11月～
中間
報告

■うんなん商品開発部

一狙い
地域産業のことを学び、高校生ならではの付加価値を考え、商品にしていくプロセスから学ぶ活動。

- 一活動・成果物
- ・商品企画
 - ・企業とのコラボ
 - ・実際の開発、販売

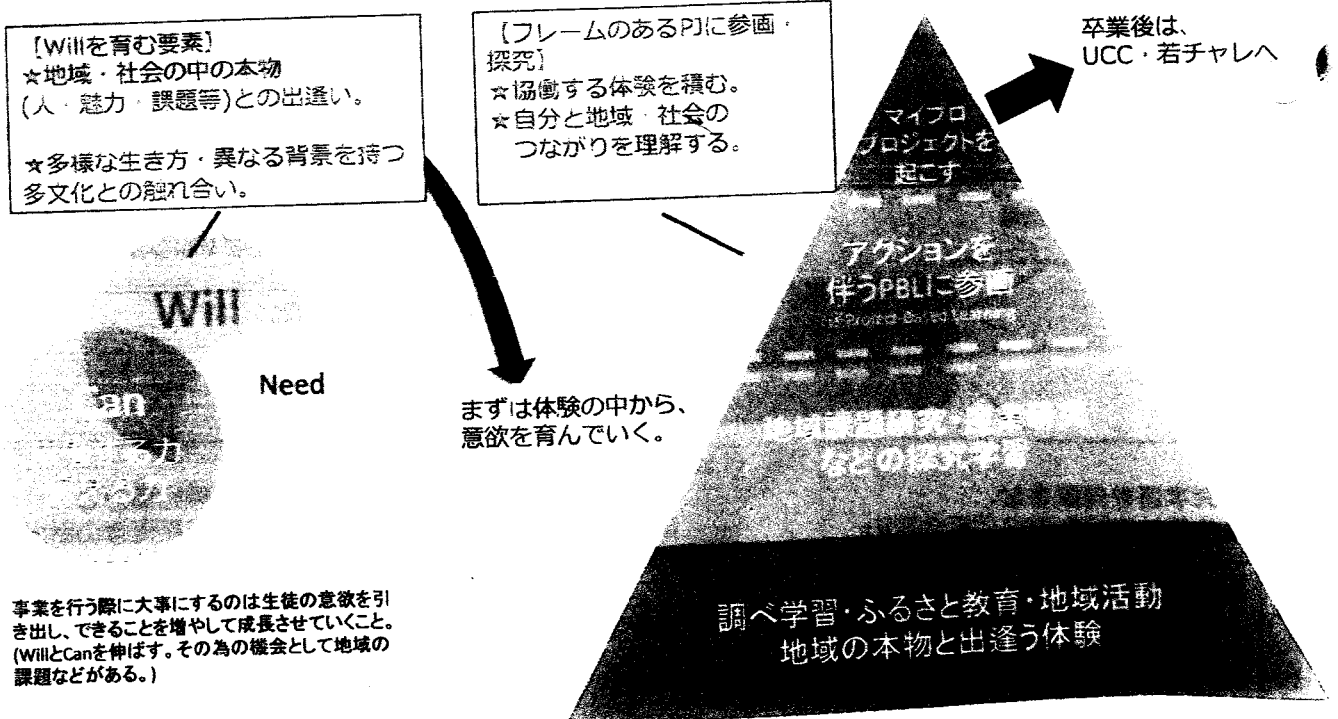
1月～
若者
会議

2月～
マイ
プロ

【社会教育】活動の中でこだわるアプローチ

「主体性・協働性・学びへの意欲」を育む探究的な学習の充実

特に、生徒たちが「やってみよう！」という意欲(will)を引き出すことに重点を置き、そのために地域や社会の魅力・課題に「気づく・深める」経験を積ませていきたい。また、それを「表現・伝える」ことにより学びを体得させていく。



雲南市キャリア教育

平成23年に中央教育審議会は、「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」において、キャリア教育を

と定めました。

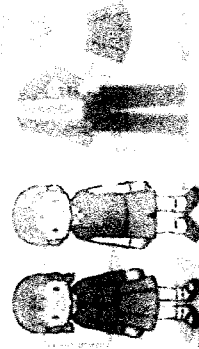
この答申では、キャリア教育の基本的な方向性として、

- 幼児期の教育から高等教育までの発達段階に応じ体系的に実施
 - 様々な教育活動を通じ、基礎的・汎用的能力を中心に育成
- の2点が特徴としてあげられました。この中で注目すべきことは、

ということと
と変わったことです。



雲南市では、キャリア教育を<特長社会的に自立して強く生きぬくために必要な意欲・態度や能力を身につけることをねらいとして行われる教育活動の総体>とらえ、乳幼児・児童生徒の「知・徳・体」の調和のとれた発達を促す教育>と考えます。



この考えのもとで、雲南市では、キャリア教育を職業観の育成のみの教育とい

うとらえ方ではなく、



発見プログラム



雲南市キャリア教育推進プログラム

<保幼小中の一貫したプログラム>



雲南市
UNNAN

雲南市教育委員会
雲南市健康福祉部

雲南市の子どもの現状と課題

大人のかかわり

平成24年度 雲南市小中学校生活実態調査から
平成22年度 雲南市幼稚園・保育所アンケートから

自己肯定感の育成

人間関係形成・社会形成能力の育成

乳幼児期からの基礎体力の向上

・生活実態調査の質問項目「自分に自信がある」と思う「に対して、肯定的な回答が少なかった。」
(自己肯定感が低い)

・生活実態調査の自尊心にかかわる得点が学年を遡うにしたがって低くなり、果敢調査結果よりも低い。

抱きしめる
微笑みかける
話す
自信をもてるよう後押しをする

大人から積極的に関わりを持つ
休める
(散歩・お手伝いなど)

・よりよい人間関係を築きながら集団生活を送る力が乏しい。
(集団生活不慣れ)

・人の話を聞くことや自分の気持ちを言葉で人に伝える力が等しい課題がある。

・生活実態調査で、「相識できる人がいない」と答えた児童生徒が90名いた。学年変化をみると、友達を選ばずる生徒が減少した。

子どもの訴えにしっかりと心をかたむけて聴く
子どもとともに体がつくりにつとめる
いのこもった手作りの食事や「お遊戯」を楽しむ

・自然の中でダイナミックに遊んだ経験や運動体験が少ない。
(自然体験不足)

・持久力や体力のな、筋力、バランス感覚などの基礎的な体力に弱さが見られる。

一方、乳幼児期における食事の中のマナーなどにもかなりの課題がある。

自然の中で子どもといっしょに遊ぶ

- 0歳児健診
- 子育て支援センター
- 子育て支援センター
- 子育て支援センター
- 子育て支援センター
- 子育て支援センター
- 子育て支援センター

いると見直しを促すべく、子育て支援センター

子育て支援センター

子育て支援センター
子育て支援センター
子育て支援センター

子育て支援センター
子育て支援センター
子育て支援センター

雲南市キャリア教育全体構想

キャリア教育推進計画

キャリア教育推進計画
キャリア教育推進計画
キャリア教育推進計画

キャリア教育推進計画
キャリア教育推進計画
キャリア教育推進計画

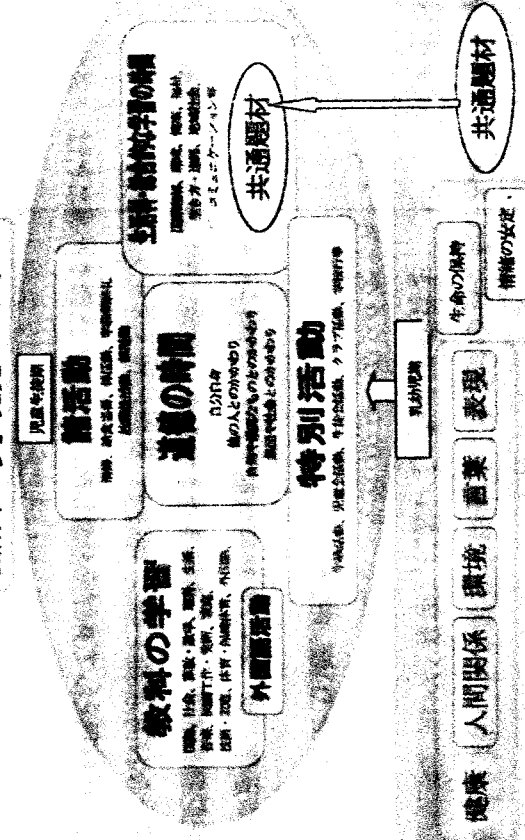
キャリア教育推進計画

キャリア教育推進計画
キャリア教育推進計画
キャリア教育推進計画

キャリア教育推進計画

キャリア教育推進計画
キャリア教育推進計画
キャリア教育推進計画

雲南市「夢」発見プログラム



家庭・地域社会・行政

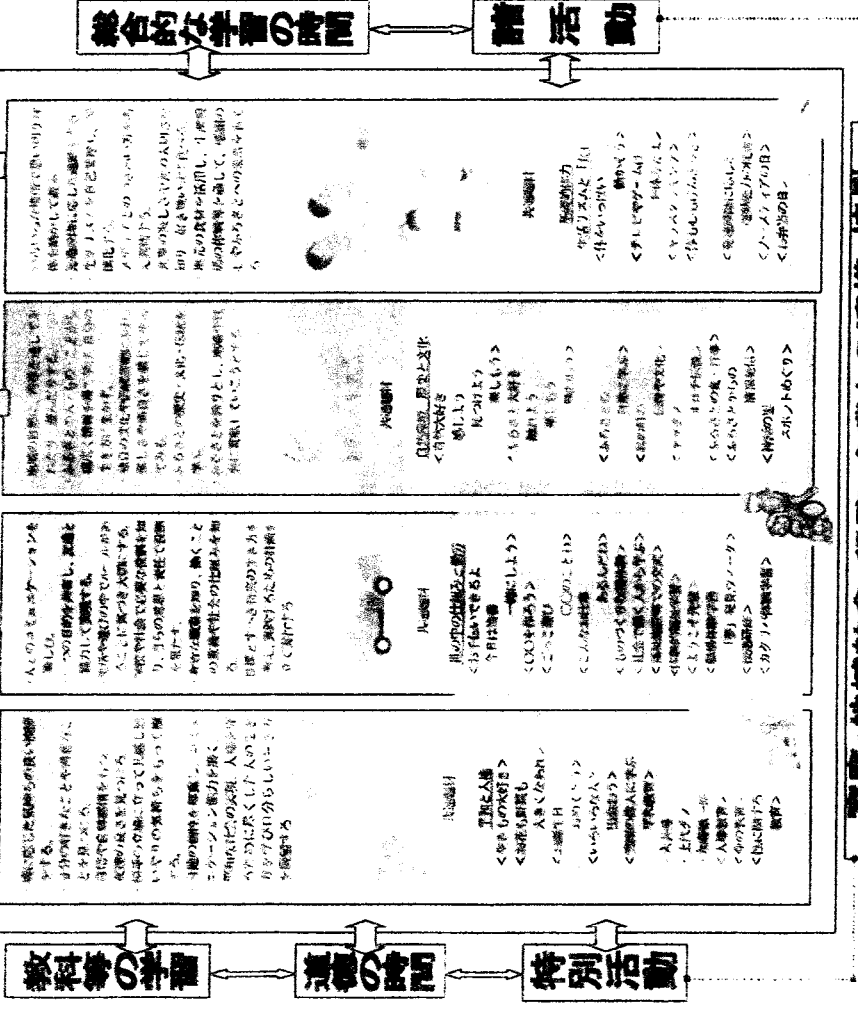


雲南市がめざす子ども像

雲南市キャリア教育の重点目標

- 多岐にわたる職業や、新しい職業の出現、ICTの活用など、生涯にわたる職業観の形成を促す。
- 多岐にわたる職業や、新しい職業の出現、ICTの活用など、生涯にわたる職業観の形成を促す。
- 多岐にわたる職業や、新しい職業の出現、ICTの活用など、生涯にわたる職業観の形成を促す。
- 多岐にわたる職業や、新しい職業の出現、ICTの活用など、生涯にわたる職業観の形成を促す。

雲南市キャリア教育推進プログラム重点内容

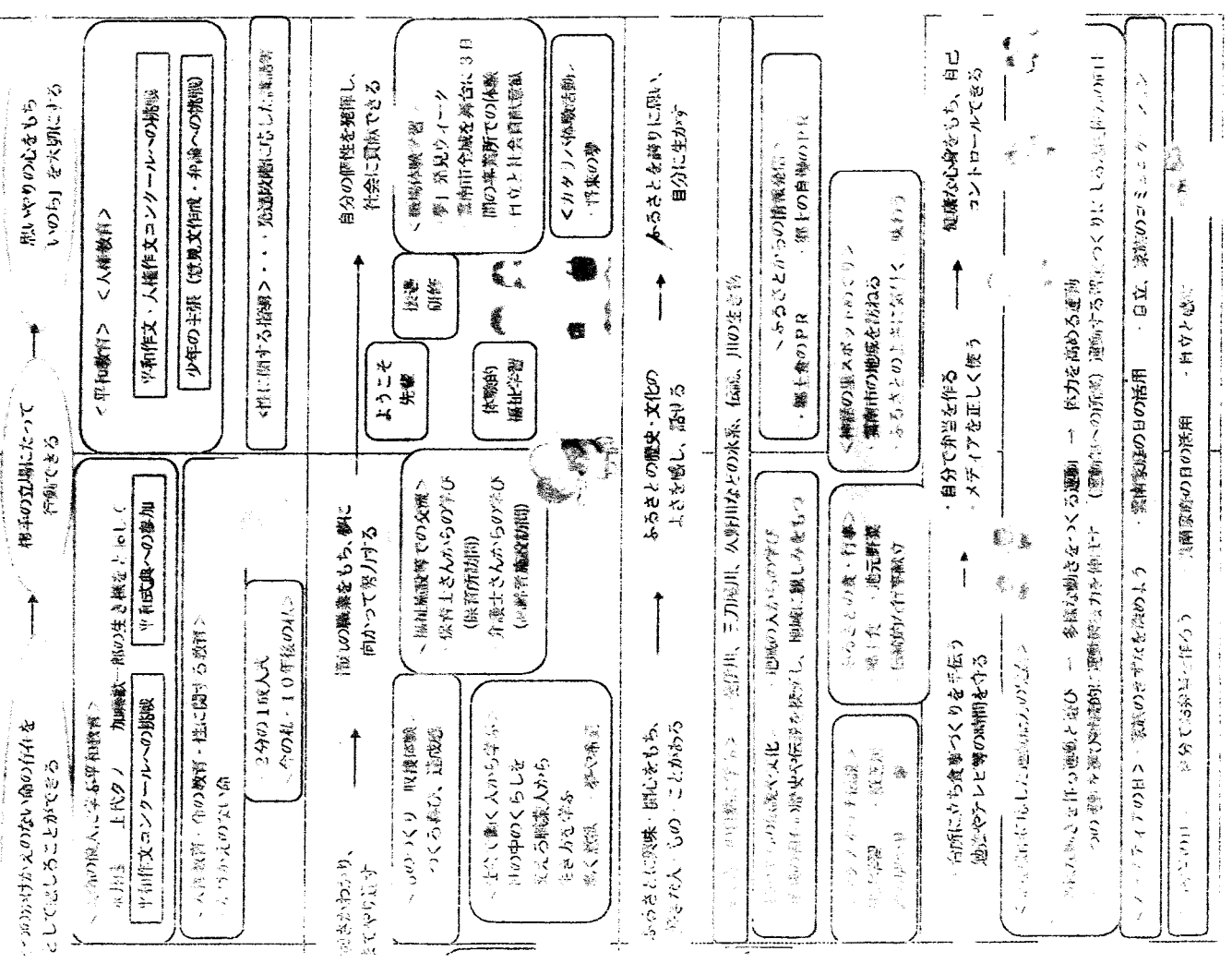


家庭・地域・社会・行政・企業との連携・協働

家庭・地域・社会・行政・企業との連携・協働の推進

人間的基礎的・社会的基礎的能力	小(低)	小(中)
乳幼児期に育感すべき力 乳幼児期の二歳までの児童の能力	「ありのまま」の個性を大切に育感すべき力 乳幼児期に育感すべき力	「ありのまま」の個性を大切に育感すべき力 乳幼児期に育感すべき力
自己管理能力	自己管理能力の育成 自己管理能力の育成	自己管理能力の育成 自己管理能力の育成
コミュニケーション能力	コミュニケーション能力の育成 コミュニケーション能力の育成	コミュニケーション能力の育成 コミュニケーション能力の育成
読解力	読解力の育成 読解力の育成	読解力の育成 読解力の育成
算数能力	算数能力の育成 算数能力の育成	算数能力の育成 算数能力の育成
英語能力	英語能力の育成 英語能力の育成	英語能力の育成 英語能力の育成
情報活用能力	情報活用能力の育成 情報活用能力の育成	情報活用能力の育成 情報活用能力の育成
職業的基礎能力	職業的基礎能力の育成 職業的基礎能力の育成	職業的基礎能力の育成 職業的基礎能力の育成
キャリアプランニング能力	キャリアプランニング能力の育成 キャリアプランニング能力の育成	キャリアプランニング能力の育成 キャリアプランニング能力の育成
問題解決能力	問題解決能力の育成 問題解決能力の育成	問題解決能力の育成 問題解決能力の育成
創造力	創造力の育成 創造力の育成	創造力の育成 創造力の育成
読解力	読解力の育成 読解力の育成	読解力の育成 読解力の育成
算数能力	算数能力の育成 算数能力の育成	算数能力の育成 算数能力の育成
英語能力	英語能力の育成 英語能力の育成	英語能力の育成 英語能力の育成
情報活用能力	情報活用能力の育成 情報活用能力の育成	情報活用能力の育成 情報活用能力の育成
職業的基礎能力	職業的基礎能力の育成 職業的基礎能力の育成	職業的基礎能力の育成 職業的基礎能力の育成
キャリアプランニング能力	キャリアプランニング能力の育成 キャリアプランニング能力の育成	キャリアプランニング能力の育成 キャリアプランニング能力の育成
問題解決能力	問題解決能力の育成 問題解決能力の育成	問題解決能力の育成 問題解決能力の育成
創造力	創造力の育成 創造力の育成	創造力の育成 創造力の育成

小(低) | 小(中) | 小(高) | 中(1) | 中(2) | 中(3)



<「夢」発見プログラム>では、乳幼児期から青年期にいたるまでの発達段階に応じた力(「意欲」「能力」「態度」)を身に付け、社会を力強く生き抜くための力(知・徳・体)のバランスのとれた力を育てていくことをめざしています。

「夢」発見プログラムの実践を通して養育の子どもを育てる

「生きる力」

社会を力強く生き抜くために必要な総合的な力



「豊かな学力」「豊かな人間性」「たくましい体」

キャリア教育で育成すべき基礎的・汎用的能力
小中で育てたい力



「学びの芽生え」

乳幼児期に育てたい9つの力

自分を豊かに 挑戦する力	自分の行動を コントロールする力	自分のよさ に気づき、 自信をもつ
命に感謝し、 喜んで食べる力	「人・自然・もの・こと」 とかわちあうとする力	友達とともに活動する 力(共感・共有・協同)
集団の一員とし ての意識をもち、 生活を営む力	人とコミュニケーション をとる力	いろいろな活動 を楽しむ力

このような力は、乳幼児期からの積み上げによって、徐々に発達段階に応じて定着していきます。だからこそ、保幼小中の一貫した教育が必要です。

「夢」発見プログラム、乳幼児期から青年期にいたるまでの発達段階に応じた力(「意欲」「能力」「態度」)を身に付け、社会を力強く生き抜くための力(知・徳・体)のバランスのとれた力を育てていくことをめざしています。

編集・発行 広島市教育委員会
発行年月 平成23年3月
〒730-1392 広島県広島市本区本町1-13-1
TEL 0854-40-1072 FAX 0854-40-1029
e-mail